

千代田

No. 135

2016

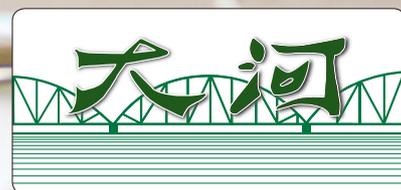
7.25

議会だより



平成28年6月定例会

- 平成28年度 補正予算を可決… P. 2
- 第3回臨時会 …………… P. 5
- 一般質問 ところが聞きたい… P. 8
- 委員会のうごき …………… P.14



表紙の説明は16ページをごらんください



QRコードを読み込むと、議会ホームページが開けます

9,000円増額

一般会計総額

19万9,000円

歳入では、県補助金に
農業者支援のための補助
金及び給付金が追加され
ました。
歳出において、民生費
では西保育園の園舎増築
工事に伴う外構等の工事
費が、農林水産業費では、
「はばたけ！ぐんまの担い
手」支援事業補助金及び
青年等就農給付金が追加
されました。



西保育園管理運営事業

800万円



ひとり暮らし
高齢者福祉事業
56万7千円

平成28年
6月定例会

6/9 ▶ 6/16

《本会議》

9日 一般質問
10日 議案審議

《委員会》

13日 総務文教
14日 福祉産業

平成28年第2回議会定例会が、6月9日から16日までの8日間の会期で開かれ、補正予算、報告、同意等11議案が上程され、慎重なる審議を行いました。また初日には5名の議員が一般質問に立ち、町の考え方について質問しました。

補正予算

3,019万

平成 28 年度

47億4,5



公共下水道整備事業
300万円



「はばたけ!ぐんまの担い手」支援事業費
※群馬の農業を支援する県事業
300万円



農業用機械購入費補助金
300万円

平成28年度 特別会計補正予算

項 目	補 正 額	補 正 後 予 算
下水道事業特別会計 (第1号)	300万0,000円	2億9,776万5,000円



イベントの魅力アップ推進事業

費許明越繰 書算計越繰

平成27年度千代田町一般会計繰越明許費は、5件の事業にて総額1億5327万3000円が平成28年度に繰り越されました。

▼総務費3件

情報セキュリティ対策事業・イベントの魅力アップ推進事業・地域活性化等調査研究支援事業

▼民生費1件

年金生活者等支援臨時福祉給付金事業

▼土木費1件

都市計画道路整備事業

費許明越繰とは？

経費の性質や予算成立後の何らかの理由で、その年度内に支出の終わらない見込みがあるものについて、予算の定めるところにより翌年度に限り繰り越して使用できるようにする予算を言います。



西邑楽土地開発 公社の決算

千代田町事業所分の主な事業では、東部住宅団地一般分譲地4区画の売却に伴う収益がありました。収益的収支では、差し引き466万7555円の当期純利益がありました。資本的収支では、差引収支不足額1498万4187円を、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金の中から補填しました。

同意

●千代田町副町長の選任につき同意を求めることについて

問 現職員が退職して町三役になるといふことは過去に例がないと思う。副町長になつた場合、現在の総務課長の給料から下がってしまうのか。また、千代田町の町長の給料は群馬県の35市町村中、下から4番目であり見直すべきと思うが、どう考えているのか。

答 副町長の給料に関しては、若干今の職よりプラスになります。また、町三役の給料ですが、平成16年4月1日に条例を改正して現在に至っています。給料の見直しについては、議員報酬も含めて将来的に議論をしてもらえればと思っております。

●千代田町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて(吉羽静江氏)

問 町長が体調不良になつた場合、副町長が職務代理者となるのか。

答 地方自治法152条に町長が体調不良や旅先で何かあつた場合など、副町長が職務を代理します。

問 千代田町において副町長にふさわしいと思われる方が、坂本氏を除いていなかったのか。候補は何名かいたと思うが、あえて総務課長である坂本氏を選んだ理由は。

答 私の中で候補として4名くらいの方がいました。私と同様、坂本氏も何かあつた場合、全責任は自分が負うという意気込みを持った課長であると思ひ、坂本氏を上程しました。

問 吉羽氏の評判を含め、町長の考えを聞かせてほしい。また、この選任に関して、前教育委員会事務局長に相談はしたか。

答 評判はいろいろあつたが、何名かの人に話を聞いた上で、最終的に吉羽氏を上程させていたいただきました。前教育委員会事務局長に相談はしていません。

4/11

第3回臨時会

平成28年第3回臨時会では、専決処分の承認5件、同意2件が上程されました。

また、千代田町選挙管理委員・補充員の選挙も行われました。

専決処分5件承認

● 地方税法の一部改正に伴った専決処分が3件、行政不服審査法施行令の公布に伴う専決処分が1件、国の補正予算に伴う専決処分が1件、計5件が承認されました。

● 町税条例の一部改正では、文言等の見直しが行われました。

● 都市計画税条例の一部改正では、固定資産税課税標準の特例が見直されました。

● 国民健康保険税条例の一部改正では、基礎課税額・後期高齢者支援金等課税額の引き上げや、軽減対象者に対する軽減判定所得の幅が広がりました。

● 千代田町固定資産評価審査委員会条例の一部改正では、総務省通知による改正漏れの一部改正を行いました。

● 平成27年度千代田町一般会計補正予算では、歳入で地方創生加速化交付金を追加

し、歳出においてイベントの魅力アップ推進事業及び地域活性化等調査研究支援事業を追加しました。

主な質疑

問 イベントの魅力アップ推進事業の金額は、役場が独自で考えたことなのか。それとも、地域の方々と相談をしながら決めた金額なのか。

答 国から国庫補助金でいただいた金額です。今年度は、川せがき・なかさと公園関係・産業祭等に予算を取り、潤いのあるまちを目指しているこうと考えています。今後は、関係団体を選んでいきながら、相談をし事業を進めていきたい。

問 タウンセールス事業とは。

答 地域活性化等調査研究支援事業の中で、植木産業を広くPRしようという事業であり、モデルハウス展覧会・イベント等の出展の負担金ということで計上しています。

問 地域活性化等調査研究支援事業の基本計画策定事業とは具体的にどのようなことか。また、策定予定は立っているのか。

答 子どもの情操教育の推進及び地域コミュニティの形成、地場産業振興に関する町民

の参画を基本とした計画を予定しています。時期はまだ確定していません。

問 交付金が1回きりということ、町民にとって適切に使用されるかどうか。

答 県内でも数カ所しか交付されておらず、東毛地域では本町のみです。大切な資金であるので団体等と協議をしながら、有効に使っていくこうと考えています。



水面に映える水上スターメイン

4月臨時会・6月定例会にて、以下の人事案件を同意しました



教育長 岡田 哲氏

岡田氏は、昭和26年生まれ、64歳。昭和52年に群馬県教員となり、町内小学校の教頭、校長職を経て、平成26年から町教育委員を務められました。今後教育長としての活躍が期待されます。



副町長 坂本 道夫氏

坂本氏は、昭和33年生まれ、58歳。昭和56年に当時の村職員となり、財務課長・総務課長など、要職を務められました。多くの行政経験を積み、今後副町長としての活躍が期待されます。

固定資産評価審査委員に

森田 清史氏

(再任・千代田町大字新福寺)

川島 政好氏

(新任・千代田町大字瀬戸井)

任期満了に伴う固定資産評価審査委員を選任することについて、同意を求める議案が提出され、同意しました。

監査委員に

白石 正躬氏

(再任・千代田町大字赤岩)

細田 芳雄氏

(新任・千代田町大字下中森)

委員の任期満了に伴う監査委員の選任につき同意を求める議案が提出され、同意しました。

公平委員会委員に

加藤 和男氏

(新任・千代田町大字上中森)

委員の辞職に伴う公平委員会委員の選任につき同意を求める議案が提出され、同意しました。

教育委員会委員に

遠藤 牧子氏

(再任・千代田町大字瀬戸井)

吉羽 静江氏

(新任・邑楽町大字中野)

委員の辞任等に伴う教育委員会委員の任命につき同意を求める議案が提出され、同意しました。

選挙管理委員及び 補充員に

◎選挙管理委員

齋藤 長十郎氏

(千代田町大字舞木)

◎選挙管理委員

遠藤 讓氏

(千代田町大字下中森)

阿部 松夫氏

(千代田町大字上五箇)

椎名 信一郎氏

(千代田町大字赤岩)

◎選挙管理委員補充員

川島 邦雄氏

(千代田町大字赤岩)

松沢 久雄氏

(千代田町大字萱野)

家中 小一氏

(千代田町大字上五箇)

田代 正夫氏

(千代田町大字舞木)

任期満了に伴う選挙管理委員及び補充員の選挙が行われ、右記の8氏が当選しました。

審議議案と議員の賛否(第3回臨時会・第2回定例会)

議案名	議員名											議決結果 (賛成:反対)	
	大澤成樹	酒巻広明	橋本和之	大谷純一	森雅哉	川田延明	高橋祐二	小林正明	柿沼英己	細田芳雄	青木國生		襟川仁志
第3回臨時会													
承認2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認(11:0)
承認3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認(11:0)
承認4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認(11:0)
承認5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認(11:0)
承認6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認(11:0)
同意1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11:0)
同意2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11:0)
第2回定例会													
議案31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
同意3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11:0)
同意4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11:0)
同意5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11:0)
同意6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11:0)
同意7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11:0)
同意8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11:0)
同意9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11:0)

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します (○は賛成、×は反対、欠は欠席)



i新聞

住むまちをもっと好きになるアプリ

はじめました

千代田町議会が発行する「議会だより大河」をスマートフォンやタブレット用アプリ「i新聞紙」で配信を開始しました！

町が発行している「広報ちよだ」もチェックできるので、この機会にぜひダウンロードしてみたいはかがですか？

※アプリの利用は無料ですが、通信料はご利用者負担となります。



QRコードを読み取って、
無料ダウンロードしてね！

問い合わせ先 議会事務局
☎86-7009 (直通)





そこが聞きたい 5 議員が登壇

一般質問

一般質問とは、議員の立場から、町長や町の各行政機関の長に対する町政運営全般における事務執行の状況や、将来に対する方針等について所信をただし、あるいは、報告・説明を求め、または疑問を問いただすことをいいます。

ページ	質問者	質問項目
9	小林 正明	①千代田町総合戦略等について問う
10	橋本 和之	①ふるさと納税について
11	大谷 純一	①町長の政治姿勢と今後の町の課題について ②教育長人事について ③小学校の自転車通学について
12	高橋 祐二	①都市計画道路等の早期完成について ②防災無線の有効利用について
13	細田 芳雄	①町長は1年後、4年後又その後、千代田町をどのような町に変えていきたいか伺う



総合戦略主要施策について



小林 正明 議員

町長 各種施策を実施して、流入人口の増加を目指します

問 新規工業団地造成事業18・4ヘクタールの推移について、現状と将来ビジョンについて問う。

町長 現在、関東農政局との協議を行っています。現状の課題に対してあらゆる方策を進め、早期実現に向けて頑張っていきたい。

問 ふれあいタウン、商業用地の販売推進事業6・3ヘクタールの現状と将来ビジョンについて問う。

町長 利便性も含めた中で住民が暮らしやすく、また町外からも来てもらうことを目的と



造成が完了した商業用地

していますので、早急に誘致をしたい。

問 定住・移住促進子育て支援の主要施策について問う。

町長 住宅の新築費用や中古住宅の購入費の一部補助等、定住・移住促進へ向けた支援補助金の交付事業などを実施しています。

また、子育て支援については、結婚から妊

娠、出産、子育ての一貫した切れ目のない支援が必要であり、将来を担う子どもたちにより良い教育環境を整備していきたい。

問 訪れたいくなるにぎわいのあるまちづくりとは、どのように考えているか。

町長 3つの大きな事業を行っていききたいと考えています。なかさと公園を中心とした新たなイベント、川せがきや産業祭の魅力アップ、地場産業でもある植木造園関係の事業活性化を図り、流入人口の増加を目指していきたい。

問 観光資源の掘り起こし、近隣自治体との連携について問う。

町長 利根川は避けて通れないと考えています。また、掘り起こす観光が約20カ所あると

いう認識のもと、町民他団体とも連携をし、来町者を増やしていければと考えています。また、自治体独自で観光をPRしても限界があると考えています。県境もしくは各自治体の壁を低くし、その中で連携をとりながら町に来ていただく施策を行っていく必要があると考えています。

問 14区富士原地区の里山整備について問う。

町長 他の地区同様に対応していく必要があると考えています。さらには、里山として整備していくことにより、新たな観光資源となっていく可能性もあります。将来的にはフットパスも含めて、グリーンツーリズムも視野に入れながら、今後町の新たな観光資源として進めていく必要があると考えています。

問 川の駅構想についての考えを問う。

町長 将来的には本町の西部地区に建設できればと考えています。地場産の野菜等を直売したり、町に関する美術品の展示をしたり観光案内も設置できるようにと考えています。まだまだ構想段階ではありますが、先進地を参考にしながら検討していきたい。

問 利根川新橋実現のための施策について問う。

町長 早期実現が本町の長年の願いであり、我々の要望を早期に実現していくためには、行政と議員各位が一体となって要望活動をしていく必要があると考えています。

一般質問 小林 正明 議員

千代田町ふるさと応援寄附金について



橋本 和之 議員

町長 町の特産品や商品を全国各地にPRしたい

問 ふるさと納税の運
営状況は。

町長 千代田町ふるさと応援寄附金制度として平成20年12月1日から運用を開始し、平成28年3月31日までの7年4カ月の間で30件、311万円の寄附をいただいています。

返礼品としては、町のPRや地場産業の活性化を目的として、地元事業者が生産・製造している農産物や特産品などを、寄附金額に応じて選択していただいています。

4月からは、インターネットを活用し、

特産品提供事業者を2業者から10業者へ拡大しました。延べ28種類の返礼品を取り揃え、4月5日のスタートから5月末までの2カ月間で、寄附件数は延べ71件、寄附金額は170万5000円と大幅に伸びています。

問 特産品提供事業者の選定基準は。

町長 特産品提供事業者の条件としては、町内に事業所があり、千代田町のPRにつながる商品で、かつ町内で製造加工、農産物・植木の販売、サービス等がなされている商品が寄附者に送付していただけの事業者または個人となります。

希望者は申請書や商品の写真、パンフレットなど必要書類を提出し、その後、町内関係者及び業務代行者により選考会を行い、最終的に商品の決定を行います。

今後については、1年程度で商品内容の見直しや特産品提供事業者の募集をしていきたいと考えています。

問 法人版ふるさと納税への対応は。

町長 地方創生応援税制を活用して民間企業の応援をいただき、町の財政負担を抑制しながら地方創生事業の取り組みを推進していくことが重要であると認識をしています。

千代田町まち・ひと・しごと創生本部の3つの専門部会において、企業版ふるさと納税制度を活用した事業について協議・検討を重ねてまいりましたが、現時点では当該制度を活用できるような具体的な

事業は難しいと考えています。

まずは、現在進行中の加速化交付金事業を進め、今後、国の動向も注視しながら、必要に応じてさらなる協議・検討を行っていきます。



町長の政治姿勢について



大谷 純一 議員

町長 功績を残したか残さないかは町民の皆さんが判断されること

問 8年前に議会議員に立候補し、政治に携わろうとした動機とは。

町長 消防団員を初め各種団体の活動を経験していく中で、さらに地域に貢献したいという気持ちが強くなり、立候補を決意しました。

問 4年前に町長選に立候補した動機と、前町長との政策面の違いとは。

町長 東日本大震災です。地元の方々のお手伝いのほか、4月・7月には被災地に行き支

援活動を行う中で強い使命感が出てきました。町民の生命、財産を守るためにスピード感を持ってやっていくのは自分しかいないと思ったことが動機です。

前町長との政策面の違いについては、大きな差はないと認識していますが、それを実現するための過程等には多少違いがあると考えます。

問 初当選後、何から手をつける予定か。

町長 前町長から引き継ぎを含め、喫緊の課題である下中森地区の新規工業団地やジョイフル本田西側の商業誘致、赤岩地区の都市計画道路、舞木区画整理事業の案件などに取り組んでいきたい。

教育長人事が遅れた理由について

町長 熟慮を重ねた結果、遅くなりました

問 教育長人事を4月の入学式に間に合わせる事ができなかった理由と、町長が考える教育長の仕事内容も含めた役割とは。

町長 教育長は町の教育の要となる非常に重要なポストであり、熟慮を重ねた結果、4月の臨時議会に間に合いませんでした。教育行政の責任者として強いリーダーシップが求められます。町の将来を担う子どもたちのことを第一に考えて、教育の現場で実現させることが最も重要な役割です。

遠隔地の小学生の自転車通学について考えているか

教育委員会事務局長 必要性がないとは言えず、学校等と協議・検討は続けていきたい

問 小学校高学年の自転車通学について、ストーカーや性犯罪の防止上必要ではないか。

教育委員会事務局長

自転車通学の必要性はないとはいえないが、現時点では、現状どおりの徒歩通学が良いと考えます。通学路は交通量が多く、道幅が狭いなど交通事故発生のリスクがあります。また、徒歩通学の

メリットとして、体力増進、団体行動の学習、交通ルールの遵守などが挙げられます。防犯対策として父兄の皆様のパトロール、大泉警察署の協力のもと不審者対応訓練を実施しています。

交通安全対策としてスクールゾーン、グリーンベルト、看板の設置を実施しています。



遠隔地小学生の通学風景

都市計画道路等の 早期完成は

町長 赤岩新福寺線につきましては、平成30年度の完了を目指します



高橋 祐二議員

問 都市計画道路の進捗状況は。

町長

平成12年4月に平成32年を見据えて、6路線、約10キロメートルが都市計画道路と決定され、約1.9キロメートルが改良済みとなっています。現在、赤岩新福寺線

は平成23年度から事業認可を取得し、社会資本整備総合交付金の採択を受け順次進めています。国においては、東日本大震災や熊本地震の復興が第一優先で、次に防災安全、インフラ老朽化対策が重点事業となっております、全国

的に新設街路事業は、

国の補助金が要望額の

半分程度から10%程度

に削減されました。

赤岩新福寺線につき

ましては、平成27年度

末で約82%の用地買収

等のご協力をいただい

ているので、平成30年

度の完了を目指し、進

めていきたい。

問 都市計画道路は町

にとつて大事な事業で

すから、町独自で借金

してもやるべきでは。

町長 財政を考えなが

ら、喫緊の課題として

やっていく必要がある

と考えます。

問 大泉の大利根工業

団地と、サントリート

側道路の連結の計画

は。

町長 平成7年3月

に策定され、平成24年

3月改正の千代田町都

市計画マスタープラン

において、サントリート

北側の幹線町道25号線

を広域連携軸と位置づ

けています。

隣接する大泉・邑楽

と連携をしながら、未

整備区間の適切なルー

ト等を検討して実現で

きればと考えていま

す。

防災無線の有効利用について

町長 広報的な情報発信は控えている

問 定時放送以外にも

町民とコミュニケーション

シオンをとるため、音

楽を流したり、学校行

事の予定や町出身の著

名人の情報を発信して

みてはどうか。

町長 緊急な場面で

の放送を有効に町民の

方々へ伝えるため、町

の広報的な情報発信は

控えております。また、

音楽も差し控えたいと

考えています。苦情等

も考慮し、関係機関と

協議しながら、例えば

小学生による放送など

も考えていきたい。



住民の安全を知らせる防災無線

町長は千代田町をどんな町にしていきたいか



細田 芳雄 議員

町長 元気で楽しく住み続けたいまちを目指す

問 町税をふやす方法をどう考えているか。

町長 町税をふやすとともに安定的な財源を確保していくため、工業団地の新規造成による企業の誘致、商業施設の誘致、舞木区画整理の保留地、ふれあいタウンの販売促進に努め、企業や人口増加による税収の増加につなげていきます。

問 安心安全の人に優しいまちについて、例えば人づくりの学校教育、子どもたちや高齢者に対する優しさとしての福祉問題、生活の

ためのインフラ整備等が必要と考える。

また、お年寄りのご夫婦でも生活しやすいまちづくりについてもお聞かせいただきたい。

町長 まちづくりの根底にあるのは人づくりであるとの認識しています。また、図書館の芝生広場の活用や学校施設の整備など教育環境も整えていく必要があります。

そして、高齢者が元気で楽しく住み続けたいまちを目指すには、病気になるない体づくりが大切です。

フットパスなどを組み入れながら、なかさと公園のように健康器具を設置し、散策の途中で体を動かしたり仲間と話ができるような環境をつくりまします。また、グラウンドゴルフ場の整備もしていきたい。

また、町民の生命と財産を守るとともに、

介護施設のあり方、防犯カメラの設置、居住空間や道路の整備、洪水ハザードマップの迅速な作成、今ある自主防災組織の継続も必要と考えています。

問 昔からあった商店が消えつつある。

町長 おもてなしという気持ちを持つなど、いろいろな方法を考えながら商店街の活性化につなげていきたい。

問 広域農道と赤岩新福寺線を一本につなげる計画については。

町長 明和町の方面から来ると保健センターのところまで突き当たりになっており、この道路を早急につなげられ

ればと考えています。それにより、新規工業団地の推進はもとよりトラックや人の流れも変わってくると考えています。



図書館の芝生広場の活用

総務文教常任委員会

川田 延明 (委員長)
酒巻 広明 (副委員長)
柿沼 英己
小林 正明
大澤 成樹

町からの報告事項

≫主な所管事務について

総務課…投票所の閉鎖時刻について
財務課…町の課税状況について

教育委員会…オープンスクールの実施について

主な協議事項

≫閉会中の継続調査について

主な質疑

問 食物アレルギーについて町の対応は。

答 担任の先生と給食センターの担当で確認し合い、対応しています。

食材によっては食べられない子どももいますので、献立に材料の明記をしています。

問 食育について。

答 栄養士が教室に出向き、栄養バランスの問題等について話をしています。また自分たちで育てた作物を、実際に調理して食べています。

問 土曜スクールは考えているか。

答 学力向上の目的については必要だと思いますが、スタッフの確保や費用面を考慮すると、現時点では難しいと考えます。

問 地域防災計画見直しの進捗状況について。

答 本町においては、利根川が決壊した時に排水の問題があります。昨年の常総市に関しては一週間くらい水が引かなかつたため、広域にわたる排水について考えなければなりません。

利根川流域では、群馬・埼玉・茨城・千葉・東京の1都4県にわたり、防災会議を行いました。その中で、防災計画を具体的に示しているかと考えています。現在、千代田町で

は原案が作成されました。台風シーズン前までには、防災計画において、最後の詰めを行います。

問 コンピューター教育の取り組み状況について。

答 ICT推進授業として、町の総合戦路に記載されている事項です。

今年度パソコンの総入れかえを行う予定であり、よりよい教育となるよう協議中です。

※ICT推進授業
パソコンや電子黒板を活用することで、グラフや資料を効果的に使用する授業のこと。



子どもたちの給食風景

福祉産業常任委員会

高橋 祐二 (委員長)
大谷 純一 (副委員長)
青木 國生
細田 芳雄
森 雅哉
橋本 和之

町からの報告事項

≫主な所管事務について

住民福祉課…臨時福祉給付金について
保育園等の申し込み状況について
環境保健課…ごみ減量化の取り組みについて
住民総合健診の受診状況について
下水道事業の整備状況について

経済課…イベントの魅力アップ推進事業等について
都市整備課…ふれあいタウンちよだの分譲状況について
舞木土地区画整理組合の保留地処分状況について

主な協議事項

≫閉会中の継続調査について

主な質疑

問 太田市リサイクルプラザから、千代田町の小学生が視察に来ないという話があるが。

答 東西の4年生は、大泉の清掃センターへは勉強をしながら行っています。今後、ごみの減量化等、環境教育の充実も図りたいと考えています。

問 商業施設の進捗は。
答 ジョイフル本田と相乗効果のある企業を探しています。

問 生ごみを半分に減らした自治体があると聞か、町の取り組みは。

答 生ごみ処理機購入のための補助金を出している、積極的にPRしていきたい。

問 今年の川せがきにおいて、地方創生加速化資金の一部を割り当てるとのことだが。

答 毎年、町からも補助金を出しており、多くの町民・企業から寄附をいただいています。国の補助金を利用して今年だけ盛大にはできないので、使い方を十分検討していきます。

問 ふれあいタウンで3区画を不動産会社に販売、その後4区画の建売をし、即完売になったという例があるが、今後は区画面積の変更も必要では。

答 1区画、平均80坪で販売を始めましたが、ユーザーの希望があるときは相談に乗りたいと考えています。

問 学童クラブの入所規定は。

答 保育園と同じような条件ですが、長期休暇等の申し込み時は保護者と相談しながら決めていきます。

問 西小学童クラブのグラウンドが有効に使われていないが。

答 東側に県道があるため、児童の安全のため防護ネットの設置を考えています。

問 11区天神原の手押し信号を感應式にできないか。

答 大泉警察署と検討していきたい。



補助金が増額された家庭用生ごみ処理機



“伝統芸能を次世代につなぐ” 千代田八木節保存会

代表者 原田 紀幸さん(赤岩)

千代田八木節保存会は
会員数が25名で、代表の
原田紀幸さんのもと活動
しています。

川せがきでは140年以
上前から八木節の催しが
ありましたが、55年ほど
前からは「保存会」とし
て継続しています。

毎年、川せがきの舞台、
産業祭や光恩寺の不動尊
大祭でも披露しています。

夫婦や親子でも練習に参加されていて、とても楽しい雰囲気です。練習は第2・第4の土曜日で、午後7時から9時まで町民プラザで行っています。見学も大歓迎ですので、初心者の方でもお気軽にお越しください。

地元の伝統芸能を次世代に引き継ぐためにも、若い方の参加をお待ちしております。



議会を傍聴しませんか？

次回の定例会は、

9月6日(火)～9月16日(金)の予定です

(一般質問は初日の午前9時からです)



会議録は町のホームページからご覧になれます

千代田町議会



議会広報編集委員会

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
大 澤	酒 卷	橋 本	大 谷	川 田	高 橋	森 橋	小 林
成 樹	広 明	和 之	純 一	延 明	祐 二	雅 哉	正 明

今号の表紙

“ストロンボーンで音のひみつさがし”
6月18日、町民プラザにて「おもしろ科学教室」
が行われました。いくつかのストローを組み合わ
せトロンボーンに似た楽器をつくり、音の不思議
を考え学びました。

.....
議会だよりに掲載された写真を無料で差し上げます。
詳しくは議会事務局まで ☎(86)7009

